



国民春闘共闘

第17号

2016年3月23日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

3・17 全国統一行動 ②

地域から賃上げ・底上げアピール

2016年国民春闘最大のヤマ場「3・17全国統一行動」では、ストライキなど職場でのたたかいとともに、各地域で集会やデモ、署名宣伝行動など、多様な行動が終日展開され、大幅賃上げ・底上げ、戦争法廃止、残業代ゼロ法案廃案などを強くアピールしました。

東京～各ブロックで多彩な行動を展開～



東京では、各地域ブロック別に集会、デモ、宣伝行動が行われました。

三多摩国民春闘共闘と JMITU 東京地本西部地区協会は立川市内で三多摩統一ストライキ集会とデモを実施し 300 人が参加。曙一丁目公園で開催した集会は、春らしい陽気のなか行われ、オープニングには三多摩青年合唱団が労働歌で盛り上げました。

主催者を代表してあいさつした三多摩春闘共闘の菅原一茂代表委員は、小金井市で行われた戦争法廃止集会や3月10日の JMITU リレーストなどの状況を報告。激励あいさつにかけつけた国民春闘共闘・小田川義和代表幹事は、連合の大企業労組の妥結を乗り越え粘り強くたたかう決意を表明し、「中小企業を元気にし、地域経済を活性化し、労働者も元気になるための政策転換はまったなしだ。最低賃金 1,000 円以上、同一賃金同一労働、奨学金の問題など切実な要求を真正面に掲げ、その障害物となっている安倍権打倒のために戦争法廃止 2000 万統一署名の目標達成で世論を変えていこう」と呼びかけました。

職場からの決意表明では、建交労・京王新労組や東京土建、東京自治労連や JMITU の 4 支部が発言。若者を中心に 40 人が参加した JMITU リオン支部の代表は、寄せ書き横断幕を掲げ「14 時からストライキにはいった。われわれは我慢の限界に達している」と力をこめて粘り強くたたかう決意を述べました。集会決議と安倍内閣打倒、戦争法廃止に全力をあげる二つの決議を採択し、団結ガンバロウで集会を締めくくりました。

集会終了後、立川駅北口までデモ行進し、その後、立川駅の 2 ヶ所で戦争法廃止と労働法制改悪阻止の署名・宣伝行動を実施しました。

毎年、全労協と共同で地域春闘をたたかっている北部ブロックは「大幅賃上げで 16 春闘を勝利し、生活を改善しよう！3・17 春闘勝利！春の北部共同集会」を池袋駅に程近い中池袋公園で夕方 18 時 30 分から開催し 250 人が参加しました。

主催者を代表して北部春闘共闘の益子茂資・文京区労協事務局長が「昨日の回答はとても納得いかない」と今日、北部春闘共闘として決起した」と開会あいさつ。北部労協の小泉尚之議長は「官製春闘などと言われているが、3年目は組合要求の半分の低額回答だ。安倍政権は本当に賃上げをすると言うのなら公務で働くワーキングプアを何とかしろ」と指摘し、「これからが春闘本番！地域春闘をともにたたかおう」と呼びかけました。

集会後はデモ行進に出発、賑わう池袋の繁華街で大幅賃上げ、均等待遇実現、最賃引き上げとともに労働法制改悪反対、戦争法廃止など訴えました。

千代田、中央、日本文化マスコミ情報労組会議(MIC)は「大幅賃上げ・全国一律最賃制実現！労働法制改悪反対！戦争法廃止！憲法破壊・道徳の教科化・原発の再稼働を許さない！3・17安心できる暮らしを実現するデモ」を行い200人が参加。虎ノ門から国会までシュプレヒコールをしながら訴えました。

デモに先立ちあいさつした東京春闘共闘の森田稔代表は「たたかう労組の出番。大幅賃上げ、戦争法廃止、参議院で勝利し自公政権を倒そう。一致した力を示していこう」と訴え、MICの新崎議長は高市総務大臣の発言について「放送法の上に憲法があるのにあの答弁。意図的に曲解させマスコミを委縮させる。特定秘密保護法、戦争法と圧力が強まる。怒りの声をあげて行こう」と呼びかけました。

また、新宿、渋谷、中野、杉並、世田谷で組織する西部ブロックは「最低賃金1,500円」の要求を掲げ、新宿駅や日本随一の繁華街・歌舞伎町周辺をデモ行進しアピール。南部ブロックでは、東京南部地区の7団体が集まって「南部地区共同行動」を実施。17時30分から19時まで目黒駅前春闘決起を呼びかける大宣伝行動を行いました。

大阪～「3・17大阪総行動」1万人が行動決起～

「3・17大阪総行動」に取り組んだ大阪では、各職場・地域も含め、府下全体でのべ約1万人が行動に決起しました。大阪春闘共闘・大阪労連加盟組織の回答状況は、ベースアップや前年実績以上の回答を引き出している組合もあるものの、全体としては、要求から見て不十分な到達となっており、「全ての労働者の賃上げと雇用の安定・中小企業支援で景気回復を」「大企業は社会的責任を果たせ」「戦争法は廃止」と、職場で、地域で、さまざまな行動を終日展開しました。



大阪市内では淀屋橋・なんばでの早朝宣伝を皮切りに、ランチタイムデモでは約300人、午後からの春闘勝利労働者総決起集会には約1000人が結集しました。大阪春闘共闘・川辺代表委員（大阪労連議長）が、連合大手の低額回答を乗り越え、今日からあらためてたたかいを強化することを呼びかけました。大商連の藤川会長の連帯あいさつ後、福祉保育労・自治労連・みどうすじ総行動実行委員会より決意表明。続いて関電本社前を通るデモ行進に元気よく出発しました。

各単産・地域では、ストライキをはじめそれぞれの組織や地域での宣伝、企業・行政機関への要請や懇談、労働組合訪問、決起集会、そして職場集会や決議運動などが取り込まれました。

静岡～黄色のシールを身につけ職場でアピール～



静岡では静岡駅頭での早朝宣伝でチラシ入りのティッシュ 1000 個を配布。静岡市や浜松市では JMITU 通信産業本部（通信労組）の仲間がストライキに決起し、支援行動が行われました。

福祉保育労の職場では独自の全国統一アピールシールを見える所に貼って保育の仕事をしました。シールは統一行動のカラーである黄色地に「賃金大幅 UP！戦争法廃止！」「2016 春闘」とフクロウ「ふく（ほ）ろう」のキャラクターが黒で印刷されています。

長野～医労連、JMITU でストライキ～

長野では、日本医労連の長野地域民医労、中信民医労、諏訪民医労、東信医療生協労組、上伊那生協労組、飯伊民医労、長野日赤労組、安曇野日赤労組（計 550 人以上）、JMITU の前田鉄工所支部（約 100 人）がストライキに立ち上がりました。

長野県厚生連労組の各支部では署名・宣伝行動を実施。佐久病院支部では 700 枚のビラを配布し、141 筆の増員署名と 125 筆の戦争法廃止 2000 万統一署名を集めています。

夕方からは長野駅前で 60 名の参加で宣伝行動を行うなど、約 1000 人の仲間が行動を起こしました。

岡山～大幅賃上げを各地でアピール～

国労が 1,000 円、JMITU で 1,000 円～1,200 円、医労連で非正規雇用の時間給 5 円～20 円引き上げの回答を引き出している岡山では、全国統一行動日の 17 日、JMITU 通信産業本部（通信労組）がストライキに突入。朝 8 時から NTT 岡山支社前に支援 5 団体と当該組合員が結集して 500 枚のチラシを配布し、9 時からストライキ集会に入りました。県労会議・三上議長、国労・後藤委員長などが激励の言葉を送り、NTT に対して怒りを込めたストライキ宣言が読み上げられました。

早朝宣伝では、監視されている状況で、「チラシを受け取ってくれるかな？」との心配をよそに職員は順調に受け取ってくれ、中には笑顔で朝の挨拶をしてくれる人もいました。

また、昼休みには岡山駅西口“さんすて”で国労、医労連、高教組の仲間約 20 人が結集し、春闘チラシ 500 枚を配布しました。県医労連は同時に「看護師・介護士増やせ」の署名を行い、43 筆を集約しました。

この日は春闘統一行動第 4 弾として、岡山駅、倉敷駅、高梁駅、笠岡駅などで国民春闘共闘のチラシ 4500 枚を配布しました。岡山市職労や医労連など職場集会でも独自のビラが 3000 枚、組合員に手渡されました。



STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化